

第2回研修アンケートとりまとめ

資料1-4

学校名	氏名	Q1参加動機	Q2感想等	Q3学習素材としての活用意向	Q4実施内容案または課題	Q5湿原の教育的な価値
青葉小学校	I先生	釧路のアイヌの歴史、湿原について体験的に学べそうだったから	期待した通り体験的に学びました。ヒシを中心とした活動であったが、この活動は湿原にとどまるものでなく、他の地域、他の教科でも可能であると思います。	ぜひ実施してみたい	・湿原、釧路川、自分達の生活 ・環境	自然、歴史、環境、自分達の生活や生き方
青葉小学校	T先生		人が自然との関わりの中で昔から今にいたるまで生活していた事実にもふれられたこと	ぜひ実施してみたい	まずは…私どもが遊びの場として自然を捉えて、関わっていたことと同じように今の子ども達に遊び場(生活の場)として、活用できるかなあ	たくさんの生命が宿っていること
阿寒小学校	S先生	自分自身の研鑽のため	実体験をともなって本物を感じながら学習できました。このような機会をつくっていただき、本当にありがとうございました。	検討していきたい	費用の問題と時数の問題です。	生物の多様性、歴史的・文化的価値、身近であるが尊いということ(近くにあるのに環境的には珍しい、はかない、特殊)
阿寒中学校	K先生	様々な体験活動を通じて、生徒に自分の体験を伝えたいと思い参加しました。	遺跡の跡を踏査したり、ヒシをさわったり、実感を伴った活動が多く、自分の教育活動に充分還元できるプログラムでした。	検討していきたい	「体験」の部分で生徒にさせるには費用、安全性、他の学校行事での兼ね合いで、難しいと思っています。	多くの方々が湿原を守るために活動されていることを知りました。湿原の保全(環境保全)のために、協力して仕事をしていく、これが大切という現実を生徒たちに伝えていきたい。
芦野小学校	A先生	自然、環境の点から授業に活かせるように	たくさんの体験ができ、とても参考になりました。湿原の現在の様子がよくわかり、とても勉強になりました。	ぜひ実施してみたい	身近にある自然環境を活かし、動植物に強く関心を持ってもらいたい。環境問題についても考えてもらいたい。	とても重要だと思います。動植物の生態や水資源の観点から考え、釧路に住んでいるということ子ども達にもしっかりと伝えてもらいたい
北中学校	H先生	釧路湿原について社会科の視点から学ぶことが出来ると思ったため。	湿原の成り立ちや縄文時代の人々の暮らしなどを学ぶことが出来て良かったです。湖の植物についても実際に見て、食べて、実感することができ多くのことを学びました。	検討していきたい	・教師側の勉強不足 ・どのようにして教材を整えていくのか ・映像教材のようなものが(短いもの)うれしいです。	・多くの動植物がある点 ・アイヌの人々の暮らしに根付いた文化を学ぶことが出来る点
共栄小学校	H先生	理科を専門としながらも身近にある釧路湿原を良く知らず、研修を受けることで何かを得たいと考えたから。	ここでしかできない貴重な体験ができました。現場でいつか生かすことができる引き出しが増えたと思います。	ぜひ実施してみたい	大地の変化→地層等について 昔の人々のくらし→昔のアイヌ人の食生活について等	湿原にしかない自然、成り立ち
釧路北中学校	H先生	環境教育に興味があるため	体験活動は教師が子どもに教えるよりも、自ら学ぶ点に〇〇とても思いました	検討していきたい	体験活動か何かの時間でも達古武まで来れたら良いと思いました。	目で見て自然を感じられる点
釧路小学校	M先生	・釧路湿原を自分自身あまり知らないから ・「体感！」という言葉にひかれました	本当に体感！！ばかりで、とても楽しかったです。大人でこれだけ楽しめるれば子ども達はずっと楽しいはず！！だと思いました。	検討していきたい	交通費、安全面(カヌーなどは自分の学級の特別支援の子ども達をのせるのにはちょっと不安です。)中学年、高学年だったら大丈夫かと思っています。	文化的にも理科(科学的)にも広げられる。日本中でこんなに大きな湿原はこの地域だけ。

学校名	氏名	Q1参加動機	Q2感想等	Q3学習素材としての活用意向	Q4実施内容案または課題	Q5湿原の教育的な価値
釧路市立愛国小学校	F先生	・湿原のことを知り、自然に触れ、ひたりたかった。 ・4年生の総合的な学習の教材づくりのヒントを得たかった。	・住居跡を見て、湿原の推移について話を聞くことが出来て良かった。 ・湿原の水系、湖の水質・植生の変化について知ることができたことは貴重でした。 ・達古武湖を「ヒシ」という側面から知り、体験できてうれしく思います。 ・何とんでも大変気持ちよく、楽しませていただきました。ありがとうございました。	ぜひ実施してみたい	例年、4年生で釧路湿原について学習していますが、来年度、今までの学習内容を再検討してみたいと思っています。内容再編は可能かどうかわかりませんが、例えばアイヌの暮らしと湿原を関わせて学んだり、食と湿原という切り口もおもしろいと考えています。	・身近にある豊かな自然を学べること。 ・私達は湿原と共に生きている(生かされている)ことを学べること。
釧路市立興津小学校	I先生	総合的な学習への活用。また、自分自身がとても興味があり、ぜひ参加したいと思ったから。	実際に見て、聞いて、触れて、食べてと体験させていただき、1日とても楽しかったです。今日体験し、わかったことを子ども達に教えていきたいと思っています。	検討していきたい	学校と湿原との距離が遠く、バスなどで湿原に行くということを社会見学などで組みこむのは難しいと思います。しかし、出前講座や教材などがあれば、活用したいです。	最近の子ども達は自分の市についても、あまり理解していないように感じています。湿原について広く学習することで、環境や歴史を知ることが出来ると思いました。
釧路聾学校	H先生	フィールドワーク的な内容の授業を担当する機会が多くなったため参加しました。	身近な所にたくさん体験できる場があることを知り、実際に取り組めることが出来て良かった。	検討していきたい	今日学んだ内容に触れることに問題はないが、今日の体験場所に来て学ぶことは難しい。	自然と地球の大地の変化について学ぶのに、大きな価値を感じています。
東雲小学校	S先生	・理科、社会科での釧路湿原の取り上げ方に興味がある。 ・大学～大学院からの専攻、教材開発の視点から	釧路湿原を取りまく環境について、特に達古武における湖、文化について実感を伴ったレクチャーがたくさんあり、自分自身のためになったし、教材開発の新しい視点を持つことができた。	検討していきたい	釧路市内から湿原を実感できる場所への距離、または費用。時間的制約等、気軽にというわけには。	たくさんありすぎてわかりません。湿原の成り立ち、植物の分布、動物の分布(以上、教科では理科?)人間との関わり(社会?)維持に取り組む人々の努力、運動などたくさん
鶴野小学校	N先生	釧路湿原について何も知らない、子ども達に伝えられないが多かったため。郷土学習の視点から教育活動に活かすため。	”体感する”ことの印象の深さを改めて実感しました。この体験から生まれた言葉、話は、子ども達にとっても生きた言葉として関心を持ってもらうことができると思います。学校に戻り、ぜひ、たくさんの子に伝えてあげたいです。	ぜひ実施してみたい	カヌー体験、ヒシについての学習から歴史についても考える。	他にどこにもない釧路唯一のものであること
鶴野小学校	F先生	一昨年の講座に参加し、大変参考になりましたので、今回も参加を決めました。	大変素晴らしく、感動しました。もっとやっていたかったと思います。	検討していきたい	教材化できる学年、交通機関や予算など	かなり高く、釧路ならではの学習ができると思います。
鳥取西小学校	N先生	子ども達に自分達の身近な釧路湿原について学ばせたいと思っていましたが、自分の知識があまりにも少なく、勉強したいと思っていました。	感動がいっぱいでした。やはり本物はそれだけで素晴らしいと。子ども達にも見せたい、体験させたいと思いました。	検討していきたい	今まで「釧路湿原」と大きなくくりで調べ学習をさせたことがありますが、テーマをしばって体験できること等、インターネット、本以外の学習をさせたい。1度ではなく、数回にわたって連れてきたいが、遠いですね。	

学校名	氏名	Q1参加動機	Q2感想等	Q3学習素材としての活用意向	Q4実施内容案または課題	Q5湿原の教育的な価値
鳥取西小学校	K先生	身近な自然、釧路湿原を体感したい	楽しい1日講座でした。ありがとうございます。	検討していきたい	現地(湿原)までの足(交通)、人数(100名程いますので)、安全面、時間等	湿原は本物の大自然だということです。TVや本でも目にすることも多い身近な地域ですが、そこに足を踏み入れることで、自然の大きさを実感できる場所だと思いました。
附属釧路小学校	K先生	・体感!釧路湿原という名前に魅かれたため ・社会科の視点から湿原を考えたかったので	カヌー体験、ヒシ採集などおもしろかったです。いろんな角度から教材について考える機会になりました。	検討していきたい	・アイヌ民族の歴史や関わり ・釧路ししゃもとの関わり	太古のものが現在にまで息づいているところ
三原小学校	S先生	釧路湿原東側については、今まで学ぶ機会を持てなかったため、体験を通して理解を深められたらと思いました。	体験とリンクしての説明、学びであったので、心に残ることが多くありました。学習を広げたり深めたりするために、心が動くことが大切だと改めて感じました。様々な教科に広げられる要素がたくさんあり、勉強になりました。	検討していきたい	移動手段と費用が一番の課題です	自然と人々の暮らしが深くつながっていることを身近に感じられること